2022 年8月 19 日

各　位

会　社　名　株式会社ハピネット
代表者名　代表取締役社長　榎本　誠一
（コード番号　7552　東証プライム）
本件問合せ先　取締役執行役員経営企画室長
石丸　裕之
電話番号　03-3847-0410

映画『ハウ』
2022 年 8 月 19 日（金）全国公開のお知らせ

株式会社ハピネット（本社：東京都台東区、代表取締役社長：榎本誠一）の子会社である株式会社ハピネットファントム・スタジオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小西啓介）の共同幹事作品である映画『ハウ』が 8 月 19 日（金）より全国順次公開します。ぜひ映画館に足をお運びください。

ずっと一緒だと思ってた――
かつてない優しいラストに、温かな感動が待っている。

■作品紹介

『眉山－びざん－』、『ゼロの焦点』、『のぼうの城』などで日本アカデミー賞を受賞した名匠・犬童一心監督。これまでも『いぬのえいが』（「ポチは待っていた」）、『グーグーだって猫である』シリーズ、『猫は抱くもの』など動物をテーマにした作品を数多く発表してきた動物映画のレジェンドが、1 匹の心優しい犬と、心に傷を負った 1 人の青年の絆を描き、新たな感動作を生み出した。脚本と原作は『黄泉がえり』、『ナミヤ雑貨店の奇蹟』で日本アカデミー賞優秀脚本賞を受賞し、『キセキ　－あの日のソビトー』も手がけた斉藤ひろし。かつて自身の愛犬と過ごした優しい時間をエッセンスに、長年構想をあたためてきた本企画で、ついに犬童監督と初タッグ。日本アカデミー賞コンビが贈る“観るものすべての背中を、そっと押してくれる物語”が始動した。



■ストーリー

婚約者にあっさりフラれ、人生最悪な時を迎えていた市役所職員・赤西民夫（田中圭）。
横浜で一人空虚な日々を送る彼は、上司からの勧めで、飼い主に捨てられて保護犬になってしまった真っ白な大型犬を飼うことになってしまう。犬はワンと鳴けず「ハウッ」というかすれた声しか出せない。とびっきり人懐っこいこの犬を、民夫は“ハウ”と名付け、１人と1匹の優しくて温かい日々が始まった。民夫にとって最初は戸惑うことも多かったハウとの暮らしだったが、何をするにもいつも一緒な“２人”の絆は次第に深まり、いつしかかけがえのない存在となっていった。ハウと民夫の最高に幸せな時間はずっと続くと思っていたのだが・・・。そんな時、突然ハウが姿を消す。あらゆる手段を尽くしてハウを探す民夫だが、無情にも「ハウによく似た白い大型犬が事故死した」という情報がもたらされる。しかし、横浜から遠く離れた北の地でハウは生きていた！偶然のアクシデントが重なり、ハウは青森まで運ばれてしまったのだ。
ハウは、大好きな民夫の声を追い求め、「もう一度、君に会いたい」という一心で青森から横浜・798 キロの道のりを目指す。民夫はハウがいないという現実に苦しみもがきながらも、少しずつ向き合おうとする。民夫のそばで優しく寄り添う同僚の足立桃子（池田エライザ）の支えもあり、皆それぞれに悲しみを抱えながら生きていることを学んでゆく。一方、ハウは民夫を探して走る道中で、悩みや孤独、悲しみを抱えた人たちと出会う。震災の風評被害に心を痛める女子中学生の麻衣（長澤樹）。愛する夫（石橋蓮司）を亡くし、ひとりで傘屋を営む老女・志津（宮本信子）。深刻な DV 被害に遭い、修道院のシェルターに保護された若い女性・めぐみ（モトーラ世理奈）。彼女たちに寄り添い心を癒していく。
果たして、長い旅路を経てハウと民夫はもう一度再会することができるのか――。そこには、優しすぎる結末が待っていた――。

■作品概要

原作：『ハウ』斉藤ひろし（朝日文庫）
出演：田中圭、池田エライザ、野間口徹、渡辺真起子、モトーラ世理奈、深川麻衣、長澤樹、田中要次、利重剛、伊勢志摩、市川実和子、田畑智子、石田ゆり子（ナレーション）、石橋蓮司、宮本信子
監督：犬童一心
脚本：斉藤ひろし　犬童一心
音楽：上野耕路
主題歌：GReeeeN「味方」(ユニバーサル ミュージック)
企画・プロデュース：小池賢太郎
プロデューサー：丸山文成　柳迫成彦
企画・製作プロダクション：ジョーカーフィルムズ
製作幹事：ハピネットファントム・スタジオ　東映
配給：東映
©2022「ハウ」製作委員会





詳細情報につきましては、下記の公式 HP・SNS をご確認ください。
公式 HP　：https://haw-movie.com/
公式 Twitter＆Instagram　：@haw_movie2022

8 月 19 日（金）より全国公開